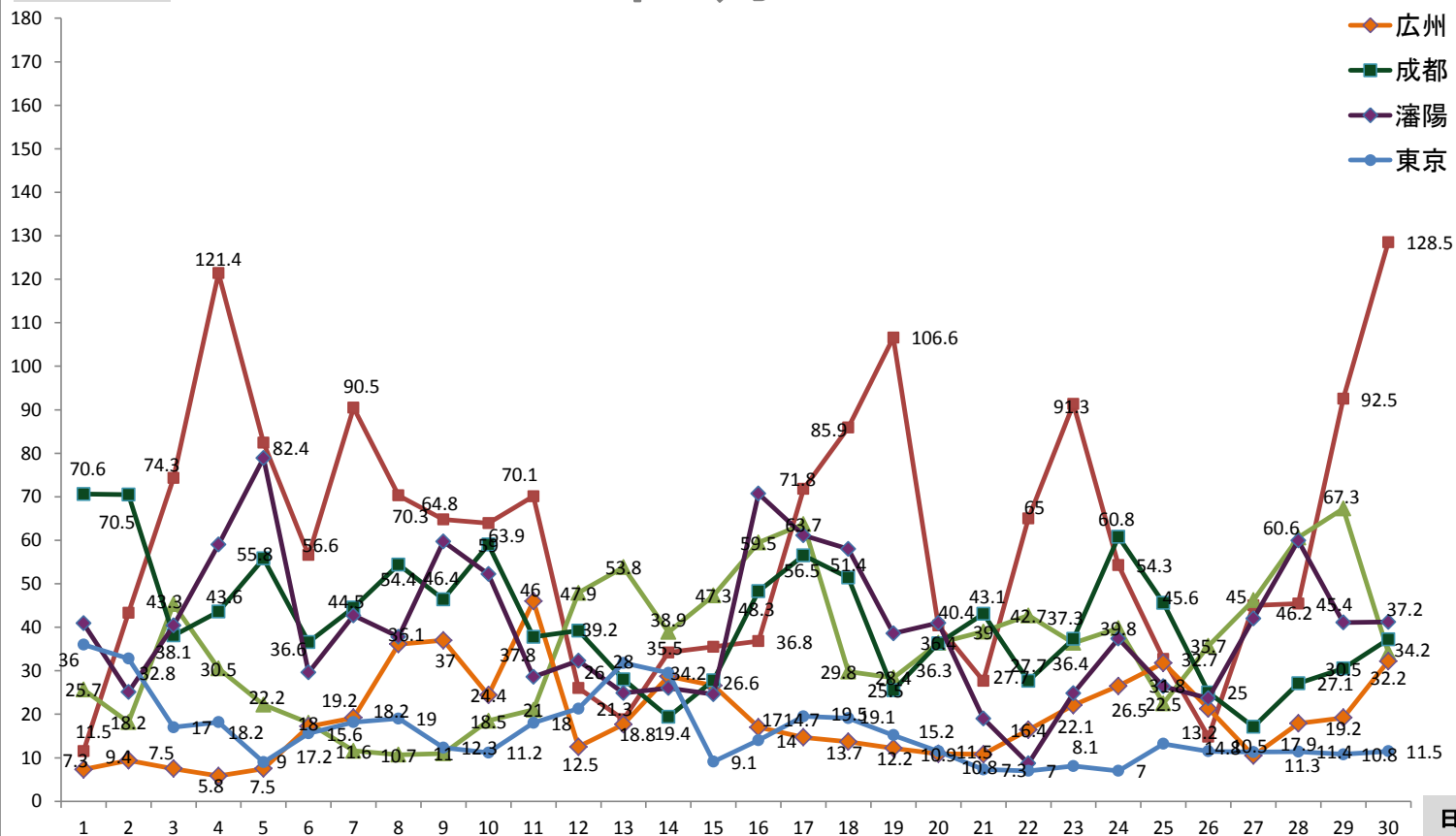


PM2.5数値
μg/m³

2016年7月のPM2.5



PM2.5と健康被害(上)

昨年11月30日、北京でPM2.5濃度が1000μg/m³に接近した、というニュースが世界を震撼させました。日平均でも約500μg/m³と、実に衝撃的な数値でした。

経済発展が進む中国等の新興国で大気汚染が著しく進行するなか、2013年10月にWHOの専門組織・国際がん研究機関(IARC)は、PM2.5を含む大気汚染物質の発がんリスクを、5段階ある危険度のうち最高位へ分類しました。大気汚染とがんの因果関係を、WHOが初めて認定したものであり、深刻な大気汚染とそれを放置することで拡大する健康被害を、国際社会が早急に対策を取り抑制するよう求めたものです。

中国の全国腫瘍登記中心によると、2014年の報告で、世界における悪性腫瘍による死亡者820万人のうち、中国が27%を占めており、また発症数で男性において肺がんが最も多く、全体の23%にのぼると言われています。

出典：
「Whenever広東」2016年9月号
メディカルコラム「PM2.5と健康被害」より編集
イーストウェストメディカルセンター
櫻華メディカルセンター 院長 孫科

PM2.5の環境基準

	年平均値	日平均値	備考
中国	35 μg/m ³	75 μg/m ³	
日本	15 μg/m ³	35 μg/m ³	
韓国	25 μg/m ³	50 μg/m ³	
米国	12 μg/m ³	35 μg/m ³	
EU	25 μg/m ³	—	
WHO	10 μg/m ³	25 μg/m ³	指針値

	2016年7月度月平均値
北京	59.8 μg/m ³
上海	34.7 μg/m ³
広州	20.2 μg/m ³
成都	41.3 μg/m ³
瀋陽	39.4 μg/m ³
東京	15.6 μg/m ³

本資料は、2016年8月8日現在の環境省「PM2.5モニタリングデータ(海外)」の日平均値を基に、当院において作成しております。尚、数値は、一定期間の精査を経て、修正される場合があります。詳しくは、同省HPをご覧ください。
東京は千代田区神田司町の日平均値を記載。

出典：環境省そらまめ君 <http://soramame.taiki.go.jp>